

# 十和田市集中改革プランなどの取り組み

平成17年度から21年度までの5か年を計画期間として策定した十和田市行政改革大綱に基づく集中改革プランなどの取り組みについて、平成21年度までの状況をお知らせします。

## ●取り組み状況

平成21年度末現在の取り組み状況は、240項目に対し、約89%の214項目が実施済みとなりました。主な取り組み項目の内容は、各種補助金および負担金の見直し、3保育園の民営化、58施設の指定管理者制度の導入、各種業務委託の実施などです。

職員の定員管理の状況は、平成22年4月1日現在の職員数が当初計画していた884人に対し、839人となり、平成17年4月1日の職員数と比べると109人の減となりました。

## ●財政効果の状況

平成21年度までに実施した取り組み項目による財政効果は、全体で約44億2,500万円の計画に対し、約17億4,400万円多い、約61億6,900万円の経費節減となりました。

詳細は、総務課、各公民館、市民図書館、十和田湖支所、市ホームページで閲覧できます。

問い合わせ先 総務課行政文書係  
(☎23)5111内線131

### 取り組み項目の実施状況

平成21年度までの実績①	214件
平成21年度までの計画②	240件
進捗率①/②	89%

※未実施項目は、第2次行政改革大綱に基づいて取り組めます。

### 職員の定員管理の状況

平成22年4月1日の職員数①	839人
平成22年4月1日の計画職員数	884人
平成17年4月1日の職員数②	948人
比較増減①-②	▲109人

### 財政効果の状況

平成21年度までの実績①	61億6,900万円
平成21年度までの計画②	44億2,500万円
比較増減①-②	17億4,400万円

今日も無事でいてほしい みんなでつくる安全安心とわだセーフコミュニティ

## 一時停止を守り、出会い頭の交通事故を減らしましょう!

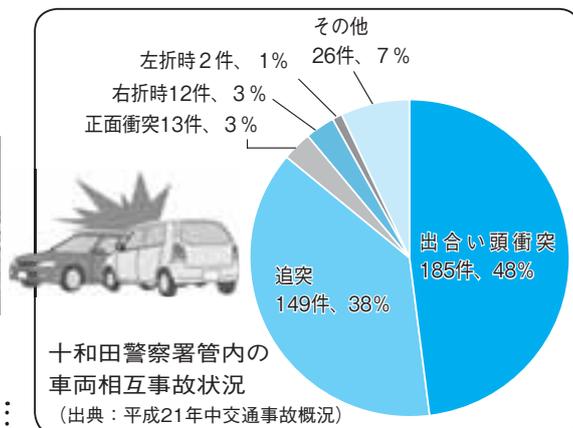
問い合わせ先 セーフコミュニティ推進室 (☎235111内線232)

平成21年の人口1万人当たりにおける交通事故発生件数は、十和田市が県内で最も多くなっています。

特に、本市は交差点が多いため、車両による出会い頭の事故が約半数を占めています。その主な原因は、交差点などにおける一時不停止によるものです。

### 特にご注意ください!

- ・「止まれ」のカラー舗装や注意喚起を促す看板のある交差点。
- ・午後4時～6時など、交通量の多くなる時間帯。
- ・交差点の30m手前で必ず減速する。
- ・一時停止場所では必ず停止し、徐行しながら前進し左右を確認する。
- ・優先道路でも、交差点を通過するときは必ず左右を確認する。
- ・気持ちと時間に余裕を持って運転する。



悲慘な事故を起こさないために、交通ルールとマナーを守り、安全運転を心掛けましょう。

### 出前講座の実施および安全・安心なまちづくり標語のほりの貸し出しについて

市では、安全・安心なまちづくりを推進するため「セーフコミュニティ出前講座」を実施しています。また、安全・安心なまちづくり標語コンクール入賞作品をプリントした「のほり」の貸し出しも行っていきますので、どうぞご利用ください。

